

@PATIENTNAME 様

乳化療(パージェタ+ハーセプチン+ドセタキセル)

指示者	@USERNAME
コース数	

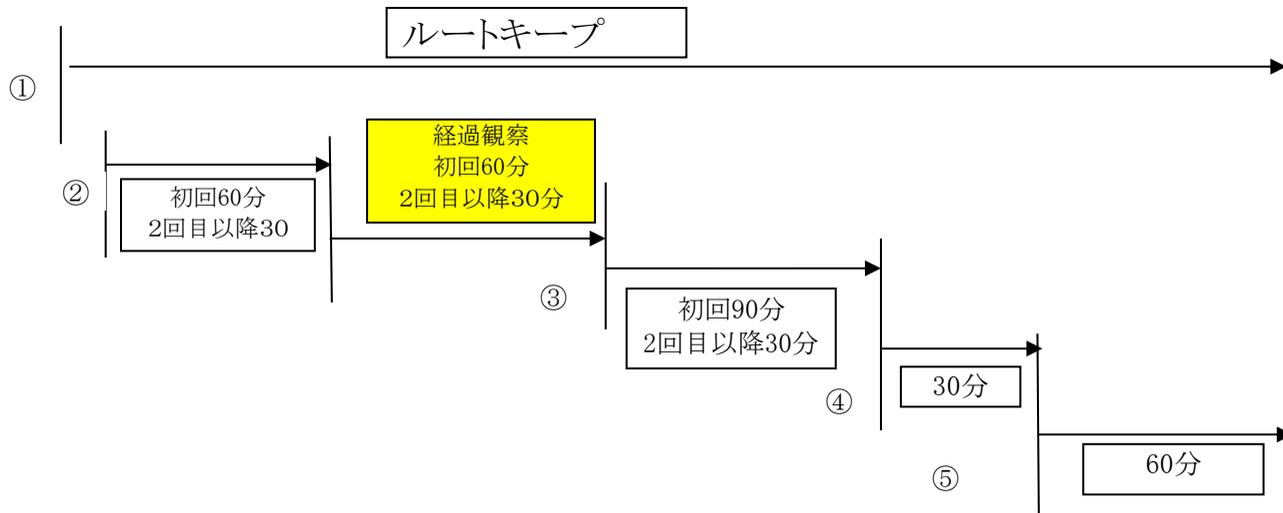
身長	HEIGHT01_D	cm
体重	HEIGHT01_D	kg
体表面積	#VALUE!	m2

(DuBoisの式)

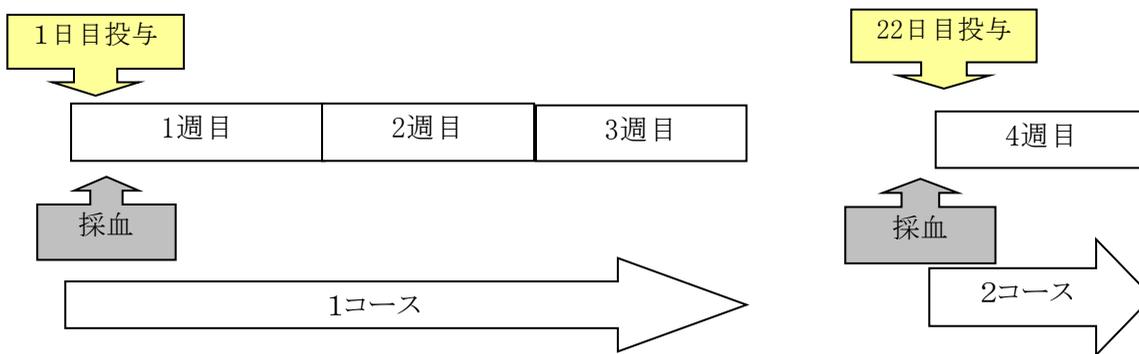
実施印

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路
①	生理食塩水500mL	ルートキープ	点滴
②	生理食塩液250mL パージェタ点滴静注 840mg/body (初回のみ) 420mg/body (2回目以降) ( )mg/body	初回 60分 2回目以降30分	点滴
	経過観察	初回60分 2回目以降30分	経過観察
③	生理食塩水250mL ハーセプチン 8mg/kg (初回のみ) ハーセプチン 6mg/kg (2回目以降) ( )mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値 初回 #VALUE! 2回目以降	初回90分 2回目以降30分	点滴
④	グラニセトロン3mg 1バッグ デカドロン3.3mg 3A	30分	点滴
⑤	5%糖液250mL ドセタキセル 75mg/m2 ( )mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値	60分	点滴

投与手順



## スケジュール 3週ごと投与する



### 注意

HER2陽性患者のみ使用可

選択基準	ベースラインのLVEF $\geq$ 50%
除外基準	コントロール不良の高血圧 (Bp150/100以上) 不安定狭心症 うっ血性心不全の既往 治療を要する重篤な不整脈 (心房細動、発作性上室性頻脈を除く) 6か月以内の心筋梗塞 術前/術後療法でのハーセプチン投与中または投与後にLVEF $<$ 50%

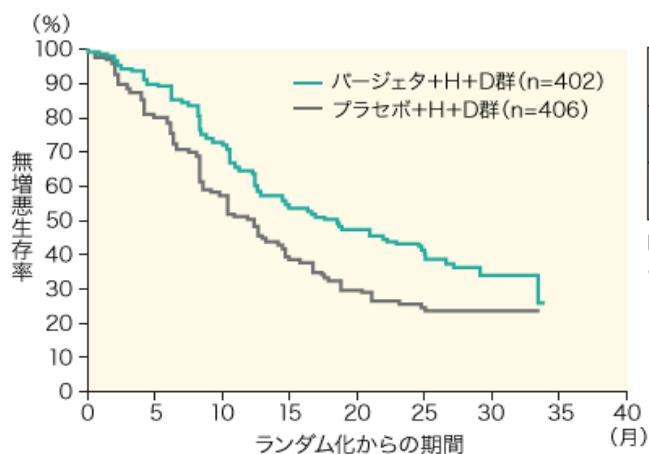
パージェタ、ハーセプチン投与中はInfusion reactionに注意

Infusion reaction 発現率	パージェタ+H+D		プラセボ+H+D	
	全grade	grade 3-5	全grade	grade 3-5
	13.8%	0.3%	15.4%	1.0%

ドセタキセルはアルコールが入っているため、車の運転は控える。アルコール禁の場合は薬剤科に連絡する。

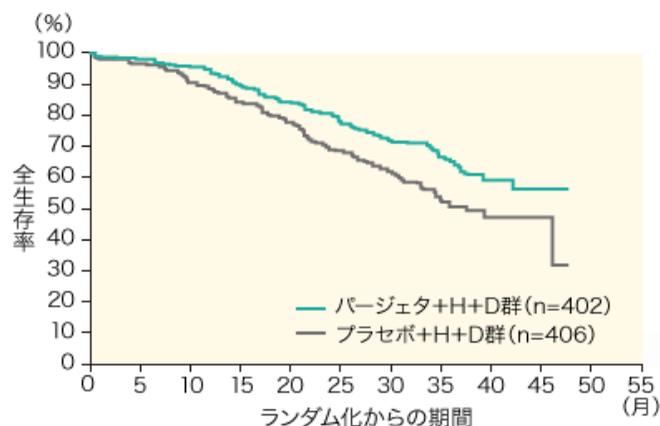
### 治療成績

奏効率(CR+PR)	パージェタ+H+D	プラセボ+H+D
	80.20%	69.30%



	無増悪生存期間 中央値(範囲)
パージェタ+H+D群 (n=402)	18.5か月 (0~34)
プラセボ+H+D群 (n=406)	12.4か月 (0~33)

p<0.0001 (層別Log rank検定)  
ハザード比(95%CI): 0.62(0.51~0.75)



	全生存期間 中央値
パージェタ+H+D群 (n=402)	Not Reached (到達せず)
プラセボ+H+D群 (n=406)	37.6か月

p=0.0008 (層別Log rank検定)  
ハザード比(95%CI): 0.66(0.52~0.84)